

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和7年6月11日
長崎市立畝刈小学校
学校だより NO. 41
校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～被爆体験講話～

畝刈小学校が今年度力を入れている平和学習の一環として、4年生から6年生までを対象に「被爆体験講話」を行いました。

今回は、皆さんもご存じの「永井隆博士」のお孫様に講話者として来校いただき、永井博士の原子爆弾投下前後の活動や思いについてお話をしていただきました。



自ら被爆したにもかかわらず、救護活動や原子病についての講義、白血病にかかり寝たきりになってからは書や本を書き続け、どんな状況になっても「前向き」であった永井隆博士の生き方についてお話をしていただきました。



被爆された方々の高齢化が進む中、若い世代の方々が語り部の後継者として原爆の悲惨さや平和の尊さを語り続けることが求められています。同じ過ちを繰り返さないように畝刈小学校の子供たちにも、ぜひその一人として語り継いでもらいたいと思います。

「豊かな心もち、自ら考え行動する児童の育成」

本校で育てたい子供たちの姿です。